

令和元年度(平成30年度実施事業分)事務事業評価評価票

No. 13-005

PDCA	事務事業名	墓地整備事業	部課等名	市民経済部 環境課 環境保全担当	担当	高橋		
					内線等	333		
P 総合計画との関係性等	政策体系	章： 第3章 にぎわいの創出と良好な環境が両立するまち						
		節： 第3節 生活環境の向上						
		基本施策： 3. 環境衛生対策						
		単位施策： (1) 斎場・市営墓地の整備						
		個別施策： ②市営墓地						
	根拠法令等	—						
	対象・目的	墓地利用者の安全性と利便性の向上を図るため、各墓地内における危険箇所等の整備工事を実施する。						
	目的を達成するための手段・活動内容	墓地利用者の安全性と利便性を確保するため、危険な箇所、不便な箇所等について整備を行う。						
D 前年度の活動結果と見られた成果	活動結果	活動実績		28年度	29年度	30年度	単位	
		①墓地整備工事（区画整備）		1	0	0	件	
		②墓地整備工事等（施設整備）		2	4	1	件	
		③						
		事業費		12,354	3,520	1,209	千円	
		人件費		3,812	3,807	625	千円	
		総事業費		16,166	7,327	1,834	千円	
		活動単位当たりのコスト		28年度	29年度	30年度	単位	
	①墓地整備工事（区画整備）		36	—	—	千円/区画		
	②							
	③							
	成 果	成果指標		28年度	29年度	30年度	単位	
		①市営墓地における事故発生件数	実績値	—	—	0	件	
			目標値	—	—	0		
②		実績値						
		目標値						
③		実績値						
	目標値							
C 課題の整理	観点別評価	必要性		有効性		効率性		
		①市の関与の妥当性	妥当	④上位施策への貢献	大きい	⑦コスト削減余地	ある	
		②市民ニーズ	高い	⑤成果向上の余地	ある	※対象・手段の変更		
	③休廃止の影響	大きい	⑥類似事業の有無	ない	⑧受益者負担適正化余地	ある		
	事業の評価・課題	B						
		北部墓地の通路整備については、お盆前に階段通路を整備することで、更なる墓参者の安全確保と利便性を向上させることができた。						
	A 課題解決のための目標	今後の事業の方向性	合理化					
			今後の墓地施設整備については、令和元年度新設の墓地施設快適化推進事業に統合し、中長期的な整備から早期整備への転換を図ることで、墓地利用者の更なる利便性の向上を図る。					
		令和元年度の目標	成果指標			目標値	単位	
			※墓地施設快適化推進事業に統合					